

練習プラン2

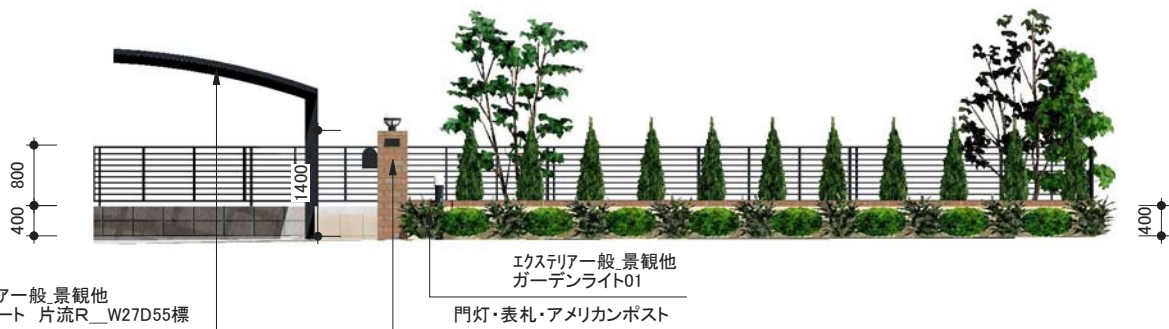
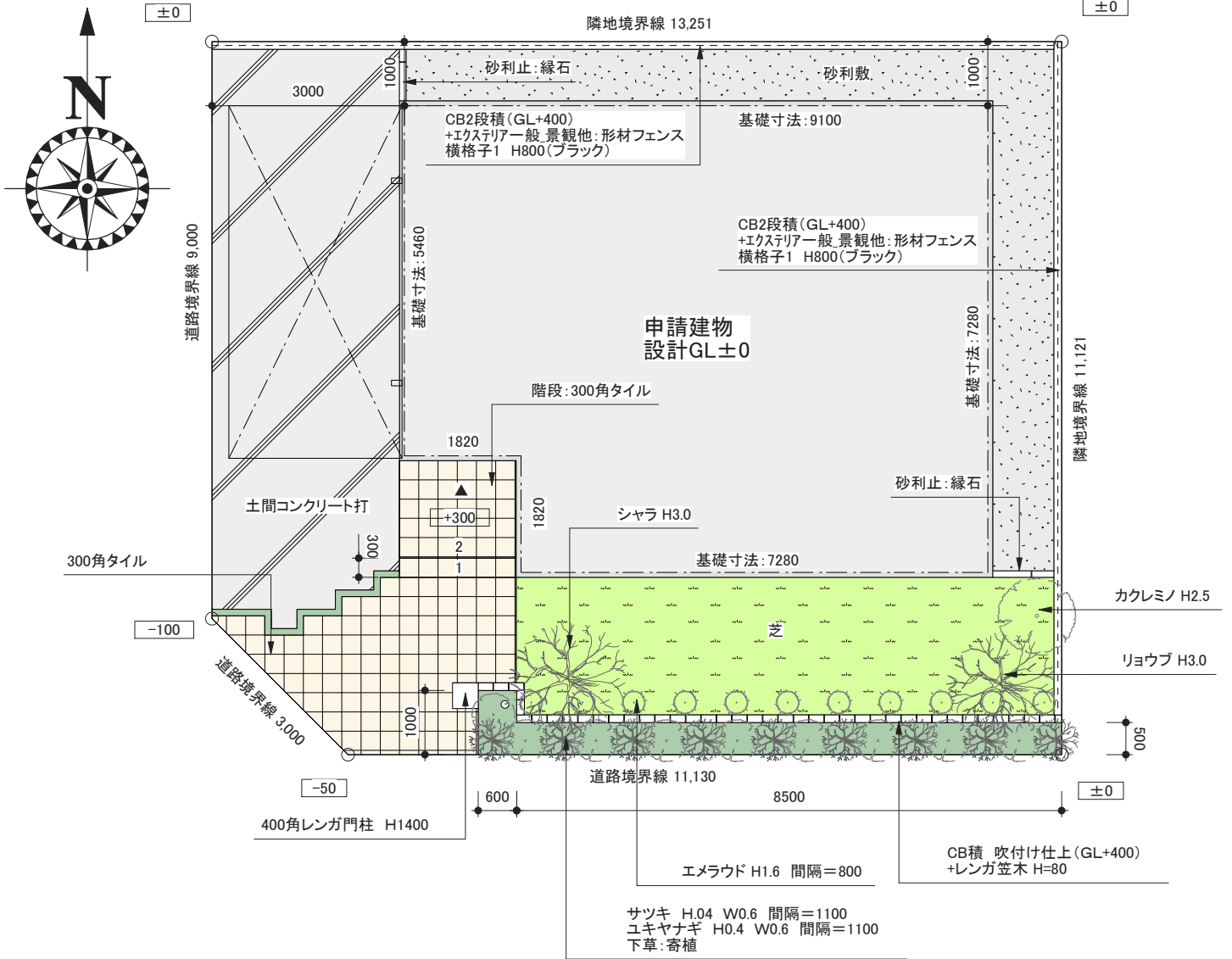
練習プラン1の図面修正をしてみましょう

縮尺：1/100の図面です。

立面図・パースはArt仕上げとなっております。



わからない時は「webマニュアル テキスト eE-CAD9 各仕様の練習プラン2」をご参照下さい。



練習プラン2

練習プラン1の図面修正をしてみましょう

立面図・パースはArt仕上げとなっております。



データの複製

修正前のデータを開き、修正用データとして保存します。

eE-CADを起動

デスクトップ上の『eE-CAD』を
ダブルクリックします。

データを開く

修正前の外構プラン作図用データを
開きます。

ファイルメニュー 開く

別名保存

開いたデータを『修正作図用』データ
として名称を変更し保存します。

ファイルメニュー 別名保存

ユニット削除

訂正箇所のユニットを削除します。

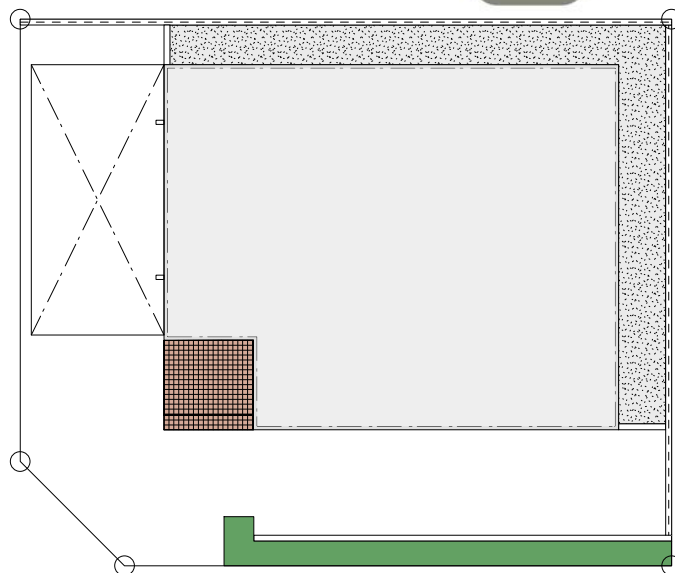
ユニット選択&削除

必要なくなったものや変更になった床
ユニットを選択します。

Back
Space

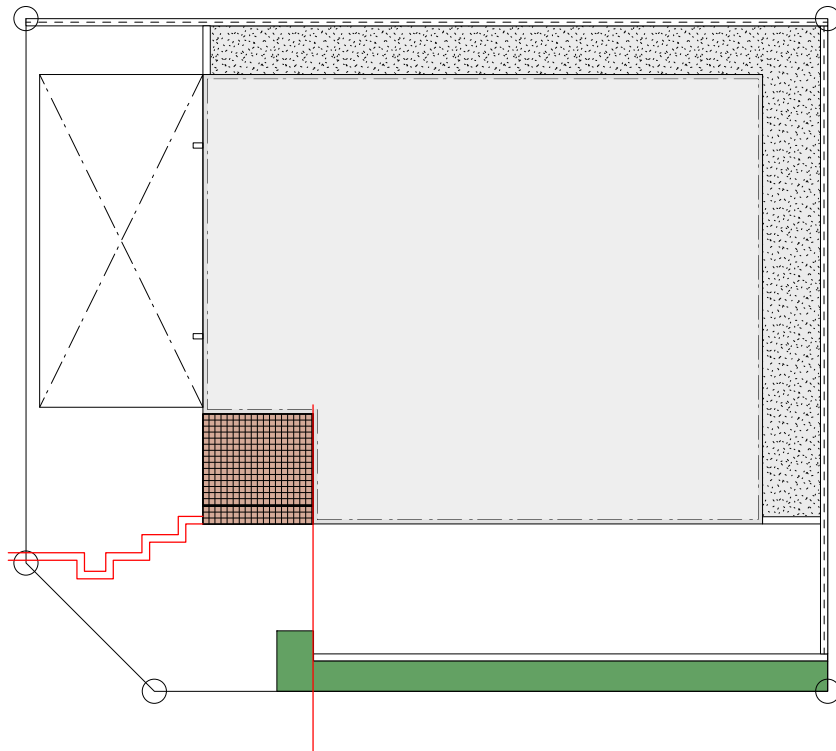
or

Delete



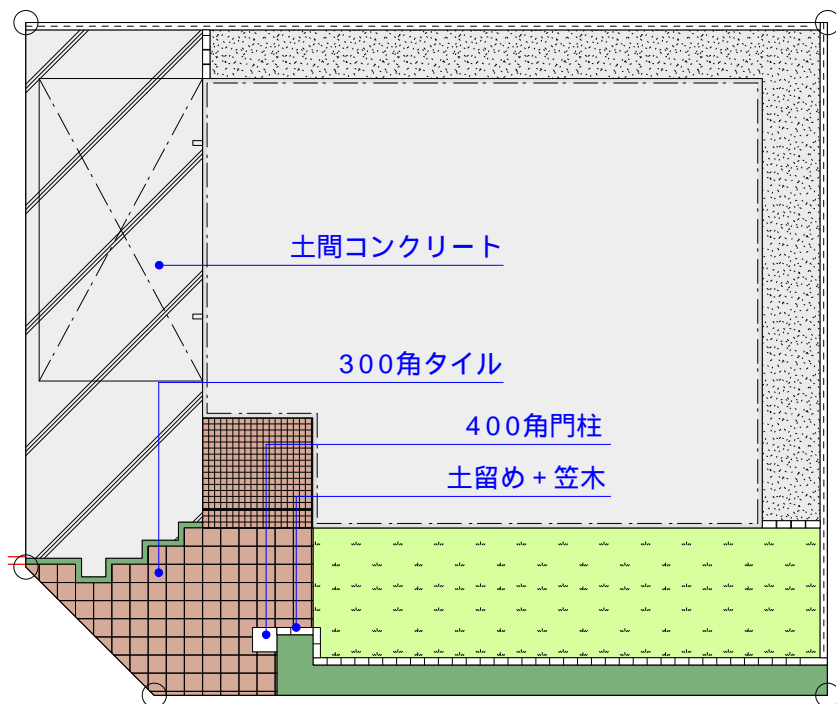
補助線入力

修正プランに合わせて補助線を入力します。



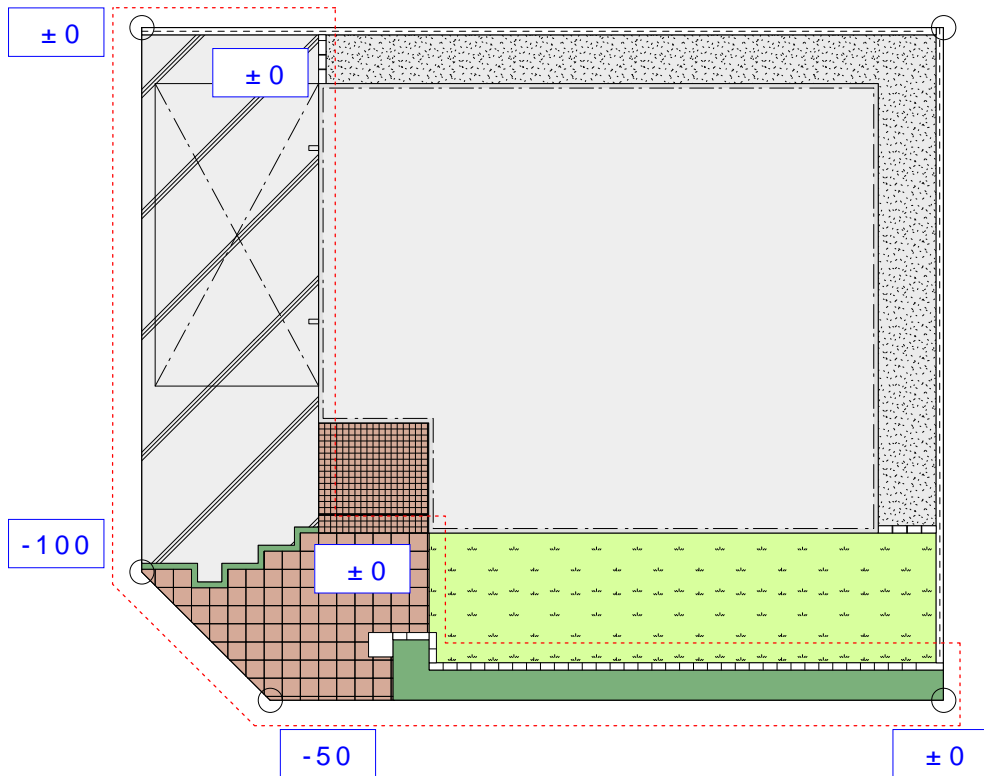
ユニット入力

修正プランに合わせてユニットを入力します。



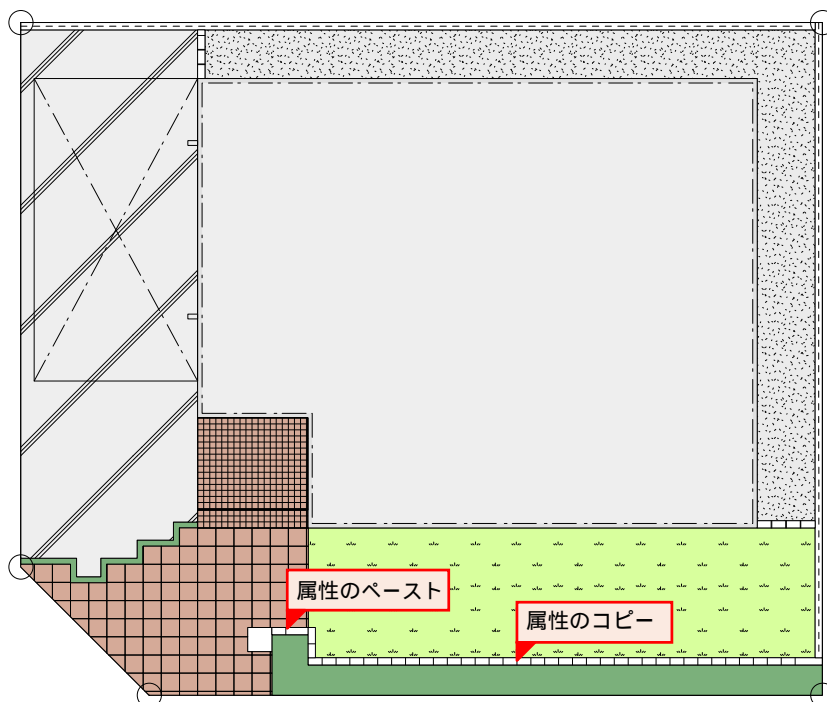
レベル一括変換

入力したユニットの下端レベルを決定します。



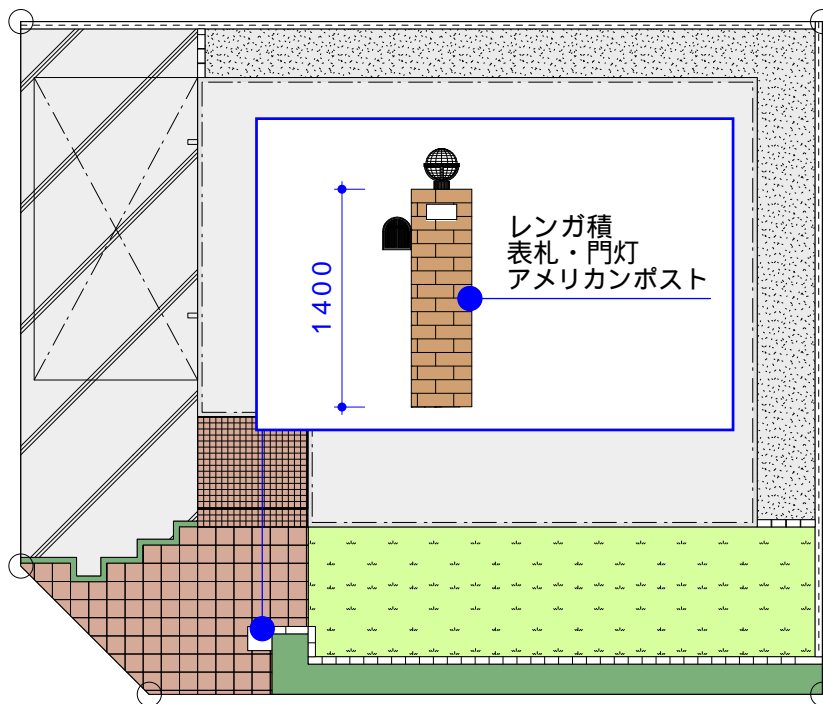
塀設定のコピー＆ペースト

土留めの塀の設定を新規入力した土留めにコピー＆ペーストします。



門柱の設定

門柱の高さと仕様、製品の取り付けを行います。



製品埋め込み設定： 門灯などは埋め込み設定で配置位置を決めます。

製品入力

通常通り塀デザイナーで製品を入力します。

シンボル詳細設定

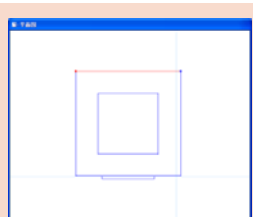
シンボル詳細の『詳細設定』に移ります。

埋め込み設定

埋め込み設定欄から製品の平面配置位置をボタンで選択します。

! 確認

塀設定画面左下の平面画面で配置位置が確認できます。



基本設定

詳細設定

埋込設定

貼付手前

貼付奥

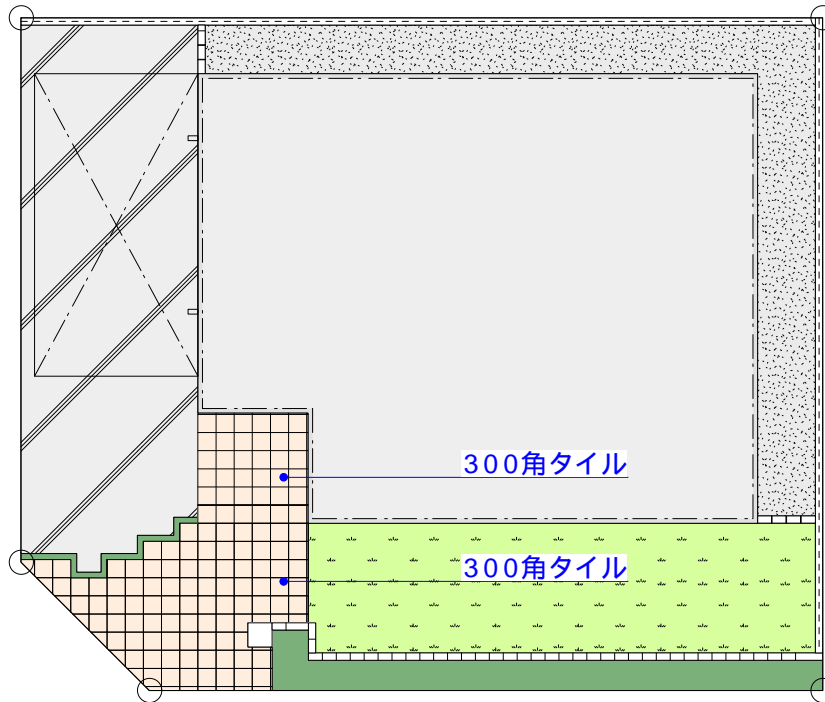
埋込手前

埋込中

埋込奥

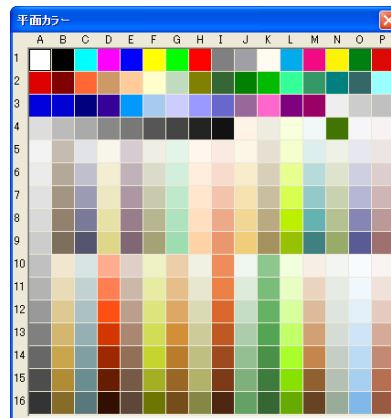
タイル変更

玄関ポーチとアプローチのタイル目地を入力しなおしタイルの色を変更しましょう。

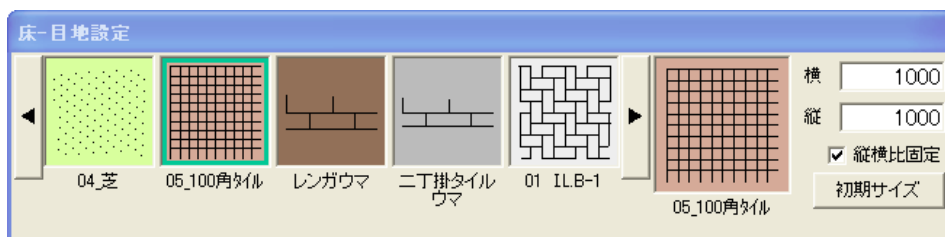


色変更： カラーパレットを表示させ、色をドラックして入力します。

表示メニュー 平面カラーパレット

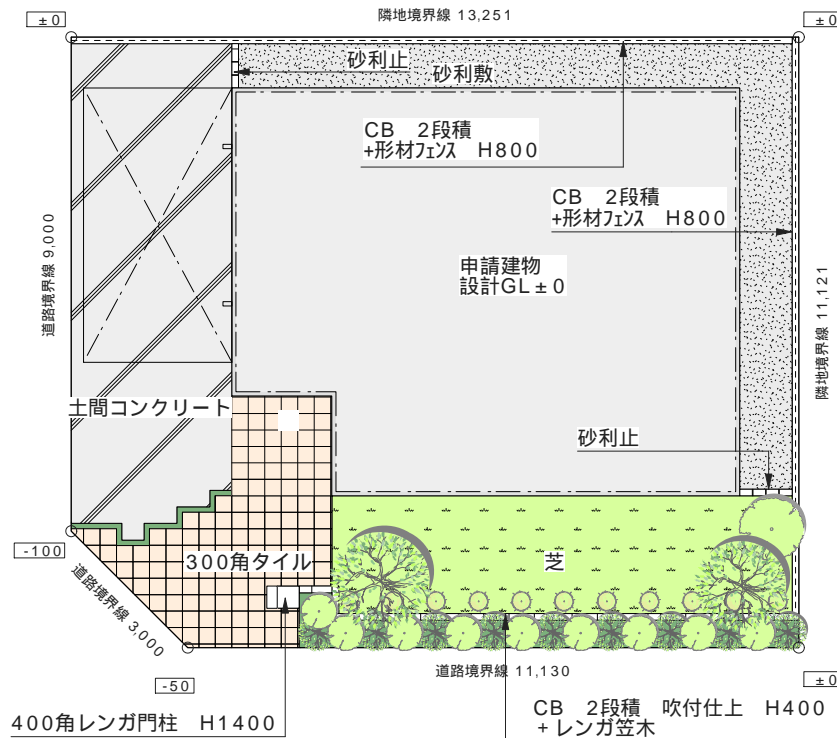


目地入れ替え： 床、階段の設定画面でサイズに合わせて目地を入力します。



注釈訂正

変更内容に合わせて注釈を訂正します。



eE-Painter起動

作業画面を仕上げ作業画面に切り替えます。

静止画像削除

修正前の静止画像を削除します。

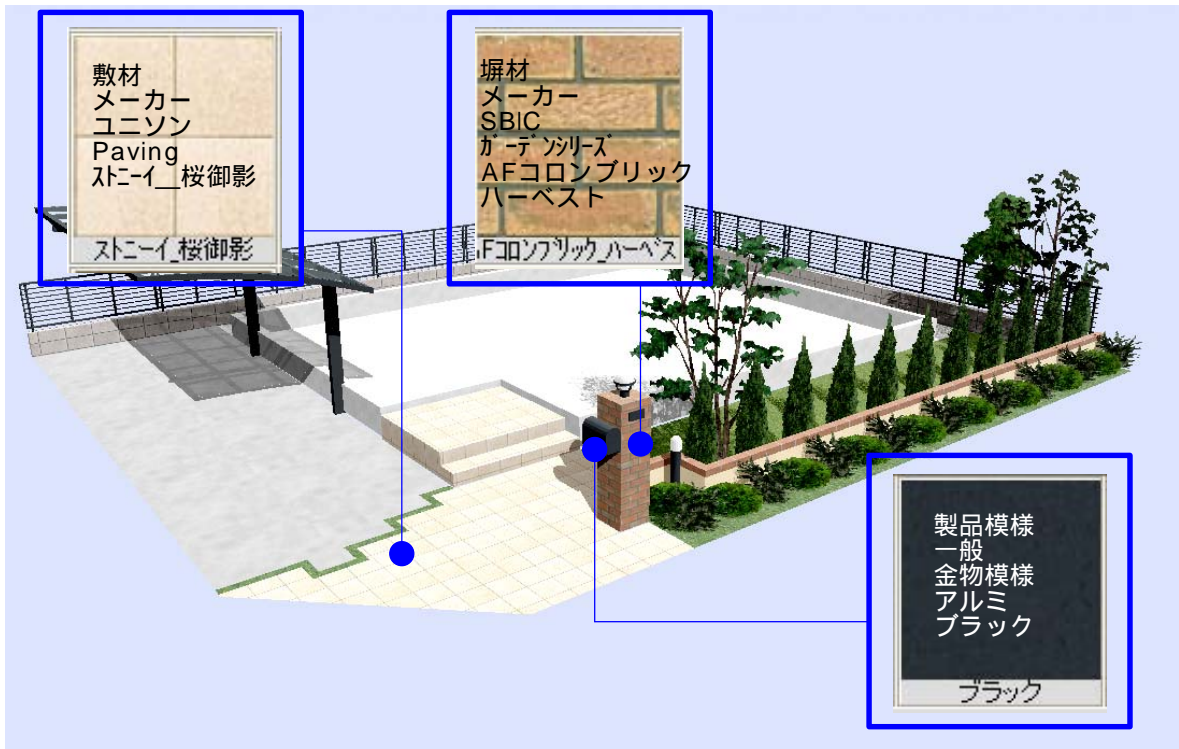
データを開く

ユニットレイヤ、またはカメラレイヤでeE-Painterを起動し仕上画面に移ります。



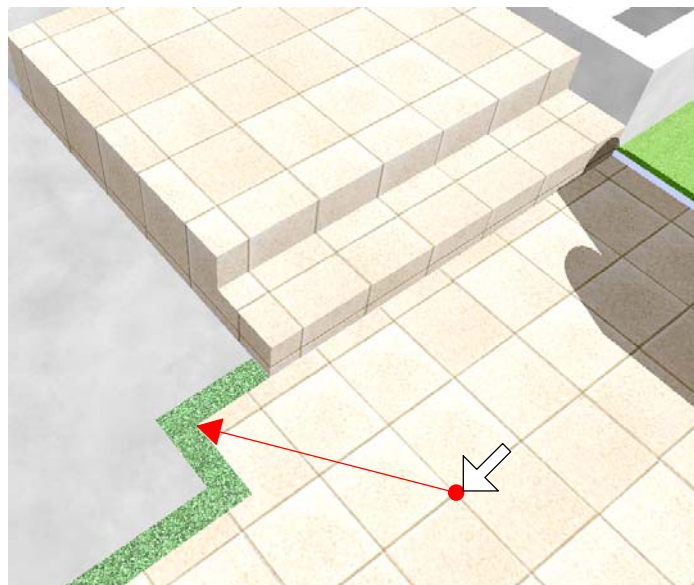
テクスチャ設定

下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



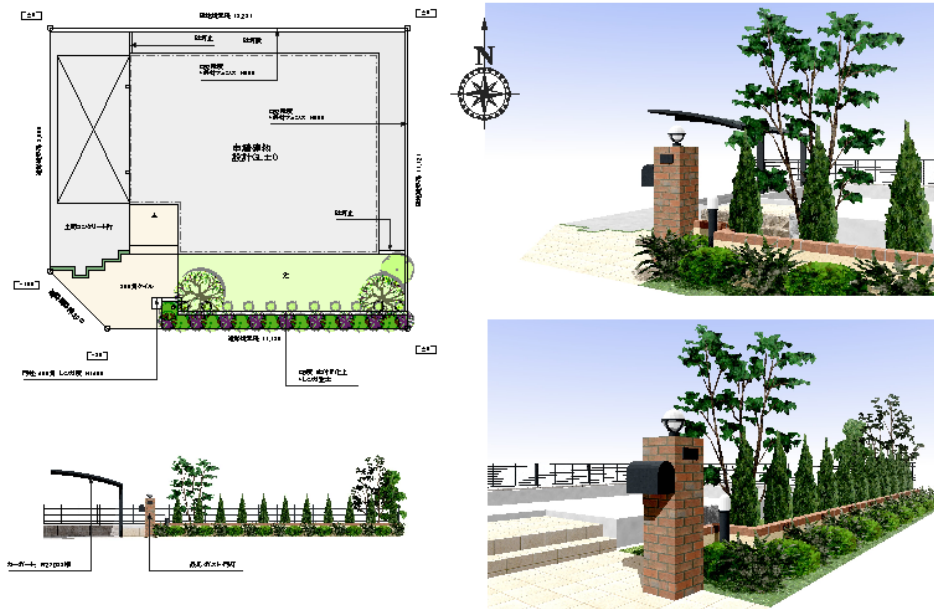
目地位置変更： 目地の貼り始め位置を調整します。

セレクションポインタツールで目地の角をつまんで図形の角に合わせます。



レイアウト

パースと立面図の静止画像を図面上に配置しレイアウトします。

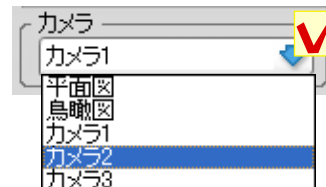


STEP2 エクステリアプラン

レンダリング： 自動レタッチ設定後、静止画像を図面上にレイアウトします。

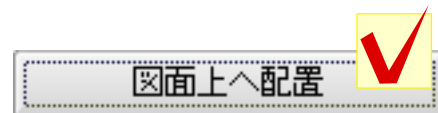
カメラ選択

静止画像を作成するカメラを選択します。



レタッチマクロ設定

好みに合わせて『塗り』と『ライン』の組み合わせを選択し、自動レタッチ設定を行います。



再レンダリング

eE-Painterを起動しなおし、別のカメラの静止画像を図面上に配置します。



立面注釈訂正

変更内容に合わせて立面注釈を訂正します。



カーポート：片流R W27D50

門灯・表札・アメリカンポスト